

静岡県教育振興基本計画 施策体系 大柱・中柱・小柱一覧 (素案)

大柱(3本)	中柱(9本) ※大綱の重点取組方針	小柱(27本)
<p>第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現</p>	<p>1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実</p>	<p>(1) 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化 (2) ICT等の活用による新たな学びの展開 (3) 乳幼児の教育・保育の充実 (4) 子どもの読書活動の推進</p>
	<p>2 「技芸を磨く実学」の奨励</p>	<p>(1) 社会的・職業的自立に向けた教育の推進 (2) スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進 (3) 多彩で魅力的な文化・芸術の創造・発信 (4) 地域資源の活用と未来への継承</p>
	<p>3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進</p>	<p>(1) 高等学校の魅力化・特色化 (2) 教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化 (3) 教職員の働き方改革の推進 (4) 学校施設の安全・安心の確保</p>
<p>第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現</p>	<p>1 多様性を尊重する教育の実現</p>	<p>(1) 人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着 (2) 多様な課題に応じたきめ細かな支援 (3) 特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実 (4) 外国人・外国人児童生徒への教育の充実</p>
	<p>2 グローバル・グローバル人材の育成</p>	<p>(1) 国際的な学びと地域学の推進 (2) 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実 (3) 地域社会や地域産業を担う人材の育成 (4) 自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成 (5) 環境と社会活動の両立を支える人材の育成</p>
	<p>3 高等教育の充実</p>	<p>(1) 高等教育機能の強化</p>
	<p>4 生涯を通じた学びの機会の充実</p>	<p>(1) 全世代に対する学びの機会の充実</p>
<p>第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現</p>	<p>1 社会とともにある開かれた教育行政の推進</p>	<p>(1) 社会全体の意見を反映した教育行政の推進 (2) 市町と連携した教育行政の推進</p>
	<p>2 地域ぐるみの教育の推進</p>	<p>(1) 学校・家庭・地域の連携推進 (2) 家庭や地域における教育力の向上</p>

★注

1 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

中柱(重点取組)

1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

小柱	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
(1) 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化	全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合	(2021年度) 小 0% 中 100%	(毎年度) 小 100% 中 100%	ア 小・中学校での「個に応じた指導」や高校での個別学習支援により質の高い学びを実現 イ 知識の理解の質の向上と探究的学習の充実等により課題解決に取り組む力を育成 ウ 教員間で情報を共有化し、小学校と中学校、中学校と高校の円滑な接続を推進	ア 授業の内容がよく分かると思える児童生徒の割合 イ 全国学力・学習状況調査の問題や結果を活用した学校の割合、外部人材を活用し協働的・探究的な学習を実施する県立高等学校数 等 ウ 県立高等学校における中学生一日体験入学の一人当たりの参加校数
(2) ICT等の活用による新たな学びの展開	授業中にICTを活用して習熟度別学習や協働学習など専門的な活用ができる教員の割合	(2019年度) 64.8%	(2025年度) 75%	ア ICTの活用により「個に応じた学び」や「協働的な学び」の充実に向けた授業改善を推進 イ 児童生徒や教職員が安全かつ安心して日常的にICTを活用できる環境を整備 ウ 児童生徒の情報モラル教育を推進するとともに、ネット依存対策を充実	ア 日常的にICTを活用した学校の割合、研修管理システムに蓄積・共有化した授業動画数 等 イ 調整中 ウ 情報モラルに関する教育活動を実施した学校の割合、ケータイ・スマホ・タブレットバイザー養成人数 等
(3) 乳幼児期の教育・保育の充実	幼稚園等に対しアドバイザー等の訪問支援を実施した市町数	(2020年度) 24市町	(2025年度) 全市町	ア 乳幼児の教育・保育の充実に向けた支援等により県全体の教育・保育の質を向上 イ 幼稚園、保育園、認定こども園づくりの支援や多様なニーズに応じる体制の整備を推進 ウ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続を推進	ア 幼児教育アドバイザー等配置市町数 等 イ 認定こども園の設置数 ウ 教育活動の円滑な接続に向けて小学校と連携を実施した幼稚園等の割合 等
(4) 子どもの読書活動の推進	家庭や地域で1週間に1回以上本に親しむ児童生徒の割合 市立図書館の児童図書の間貸出冊数(12歳以下の子ども1人あたり)	(2020年度) 小 59.2% 中 42.9% 高 29.9% 特 53.8% (2020年度) 20.8冊	(2025年度) 小 70% 中 47% 高 34% 特 65% (2025年度) 24.0冊	ア 成長過程に応じて本に親しむ機会を提供するとともに、読書活動の啓発等を実施 イ 学校図書館の充実等により学校における児童生徒の読書環境の整備を推進	ア 読書ガイドブック「本とともだち」を活用した小・中学校の割合、読書の時間の実施率 等 イ 学校司書を配置している学校の割合

中柱(重点取組)

2 「技芸を磨く実学」の奨励

小柱	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
(1) 社会的・職業的自立に向けた教育の推進	「キャリアパスポート」を活用して指導した学校の割合	(2020年度) -	(毎年度) 100%	ア 児童生徒が実学等に触れる機会の創出と地域産業への理解促進により職業観等を育成	ア 職場見学や職場体験、社会人講話等の活動を実施した学校の割合、WAZAチャレンジ教室参加者数 等
(2) スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進	成人の週1回以上のスポーツ実施率 スポーツに親しんだ県民の割合 県内施設・大会等でスポーツをする人・観る人の人数 学校の体育以外での1週間の運動時間 新体力テストで全国平均を上回った種目の割合	(2020年度) 57.7% (2020年度) - (2020年度) 14,344,670人 (2020年度) 小15男子510分 小15女子330分 (2020年度) 小 52.1% 中 63.0% 高 92.6%	(2025年度) 65% (2025年度) 調整中 (毎年度) 15,000,000人 (2025年度) 小15男子556分 小15女子348分 (2025年度) 小 100% 中 100% 高 100%	ア 誰もが気軽に体を動かすことや運動に親しみ楽しさと喜びを体験できる機会を充実 イ アスリートの発掘や育成、指導者の養成等によりトップアスリートを育成 ウ 大規模スポーツイベントを通じて得た資源を活用し、地域経済の活性化等を推進 エ 子どもの体力向上や健康の保持増進、持続可能な運動部活動と教員の負担軽減を実現 オ 指導充実や静岡茶の理解促進等により「食」に対する意識向上と健康な体づくりを推進 カ ライフステージに応じた健康づくりを推進するとともに、児童生徒への健康教育を充実	ア 多様な年代が参加できるスポーツイベント数、県都府市公園運動施設利用率数 等 イ 静岡県関係のJOCオリンピック強化選手数JPCパラリンピック等強化指定選手数、日本スポーツ協会登録公認コーチ3、4(旧公認コーチ)数 等 ウ 主催、共催、後援したスポーツ大会数、自転車走行環境整備延長(富士山一周ルート) 等 エ 体力アップコンテストしずおかに参加した学校の割合、スポーツ人材バンク登録者数 等 オ 栄養バランスのとれた朝食を取っている幼児児童生徒の割合、児童生徒に対する静岡茶の食育機会の確保取り組んでいる学校の割合 等 カ ふじのくに健康づくり推進事業所数、学校保健計画に位置付けたがん教育を実施した小学校、中学校、高等学校の割合

小柱 (3) 多彩で魅力的な文化・芸術の創造と発信	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	1年間に文化・芸術の鑑賞又は活動を行った人の割合	(2020年度) 60.5%	(2025年度) 75%		
	自分が住んでいる地域の文化的環境に満足している人の割合	(2020年度) —	(2025年度) 40%	ア 「演劇の都」づくりや誰もが文化芸術に触れる機会の充実により文化的魅力を発信 イ 児童生徒の感性を磨き、文化芸術に親しむ心を育成するとともに、優れた才能を伸長 ウ 様々な分野における文化芸術を活用した創造性ある活動を拡大し、共生社会を実現 エ 食に関する中核人材の育成や情報発信等により「ガストロノミーツーリズム」を推進	ア SPAC公演等鑑賞者数、県立文化施設ホームページへのアクセス件数 イ 子ども向け文化教育事業参加者数、「文化の匠」派遣校数 ウ 文化芸術を活用した地域課題の解決等のためアーツカウンシルすおかが 助言・相談対応した団体・個人の数、県芸術祭参加者・鑑賞者数 エ 「食の都」づくりに関する表彰数、料理人と生産者が連携したビジネス創出 件数 等

小柱 (4) 地域資源の活用と未来への継承	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	富士山の世界文化遺産としての顕著な普遍的価値を理解している人の割合	(2020年度) 25%	(2025年度) 50%		
	文化財保存活用地域計画の国認定を受けた市町数	(2020年度) 0市町	(2025年度) 18市町	ア 富士山や蘆山反射炉の適切な保存管理、価値に関する情報発信等により後世へ継承 イ 文化財の調査・保全体制の充実と防災体制の強化により文化財を確実に保存 ウ 文化財の展示・公開等により文化財に誇りと愛着を持つ県民意識を醸成	ア 富士山世界遺産センター来館者数、世界遺産富士山蘆山反射炉に関する県民講座等受講者数 イ 文化財を担う人材育成のための研修会等の開催数、静岡県文化財等救済支援員研修会等の開催数 等 ウ ふじのくに文化財オームフェア事業数、埋蔵文化財センターの体験教室等の実施回数 等

中柱(重点取組)

3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

小柱 (1) 高等学校の魅力化・特色化	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	学校生活に満足している生徒の割合(公立高等学校)	(2020年度) 78.3%	(2025年度) 85%		
				ア 社会情勢の変化や生徒の多様な能力等に応じた学びを実現する県立高校づくりを推進 イ 私立学校が自主性・独自性を生かして行う魅力ある学校づくり等の取組を支援 ウ 公立学校と私立学校の連携を図り、本県の子どもに対する教育を総合的に推進	ア 自ら進んで授業に取り組む生徒の割合(オンラインファン・ハイスクール実施校)特色化教育実施校比率(私立高等学校)

小柱 (2) 教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	学校の教員としての自身の仕事にやりがいを感じている割合	(2020年度) 94.2%	(2025年度) 100%		
	精神疾患による30日以上の特例休暇及び休職者の在職者比率	(2020年度) 0.8%	(2025年度) 調整中		
	教職員の懲戒処分件数	(2020年度) 25件	(毎年度) 0件		
				ア 教職員のキャリアステージに応じた研修等により教職員の資質を向上 イ 県内大学との連携・協力により教員としての資質能力と実践力を兼ね備えた人材を育成 ウ 組織マネジメントが効果的・効率的に推進される組織体制を確立 エ 学校の労働安全衛生管理体制の整備、教職員の健康管理やメンタルヘルス対策を推進 オ 教職員一人ひとりの倫理観や使命感の高揚を図り教職員の不祥事を根絶	ア 「静岡県教員育成指標」を活用した教員の割合、研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員の割合 イ 中高生を対象とした教職セミナー参加者数 エ 相談できる人がいない教職員の割合、心の健康づくり計画を策定済の市町数

小柱 (3) 教職員の働き方改革の推進	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	「子ども向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じている教員の割合	(2020年度) 小 54.0% 中 59.7% 高 55.8% 特 59.8%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 80% 特 100%		
				ア 学校業務の整理や効率化、外部人材の活用等により教職員の多忙化解消を推進	ア 割り振られた勤務時間以外に業務に従事した時間が月あたり45時間を超える教員の割合、教職員人材バンク登録者数 等

小柱 (4) 学校施設の安全安心の確保	成果目標	現状値	目標値	主な取組に係る施策群	活動目標
	静岡県学校施設中長期整備計画の進捗率	(2021年度) 14%	(2039年度) 100%		
				ア 学校施設や通学路等の計画的な整備により児童生徒が安心して学べる環境を整備 イ 特別支援学校の施設狭隘化解消等により障害の重度・重複化等に対応した環境を整備 ウ 学校の危機管理マニュアルの充実や訓練の実施等により学校の危機管理体制を充実	ア 静岡県学校施設中長期整備計画に基づき校舎建替え等に着手した県立学校の棟数、私立学校の耐震化率 イ 静岡県立特別支援学校施設整備基本計画に基づき整備に着手した箇所数(2022~2026年度) ウ 文部科学省作成の「学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン」により危機管理マニュアルや避難訓練等をチェックし改善を行った学校の割合

2 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

重点取組方針(中柱)

1 多様性を尊重する教育の実現

小柱

(1) 人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着

成果目標	現状値	目標値
「人権尊重の意識が生活の中に定着した県」であると感じる県民の割合	(2021年度) 39.5%	(2025年度) 50%
困っている人を見かけた際に声をかけたことがある県民の割合	(2021年度) 33.0%	(2023年度) 40%
固定的な性別役割分担意識にとらわれない男性の割合	(2019年度) 59.1%	(2023年度) 65%
パートナーシップ制度の人口カバー率	(2020年度) 21.8%	(2023年度) 100%

主な取組に係る施策群

ア 様々な場面を通じて人権尊重意識の高揚やユニバーサルデザインの理念の普及を推進
イ ジェンダー平等と性の多様性を認め合う環境づくりを推進

活動目標

ア 人権教育に関する校内研修を実施した学校の割合、ユニバーサルデザイン情報発信回数 等
イ 「ジェンダー」という用語を知っている人の割合、性の多様性の理解を促進する事業・研修会等を実施する市町の割合

小柱

(2) 多様な課題に応じたきめ細かな支援

成果目標	現状値	目標値
学校に相談できる人がいると答える児童生徒の割合	(2020年度) 小 82.3% 中 82.4%	(2025年度) 小 100% 中 100%
包括的相談支援体制を構築した市町数	(2020年度) 15市町	(2024年度) 全市町

主な取組に係る施策群

ア いじめ、不登校等の未然防止や児童生徒の心の問題の改善に向けた支援等を充実
イ 経済的理由等に左右されず教育を受られるよう子どもや保護者に対する支援を充実
ウ 心の問題を抱えた人や家族の事情に寄り添う多様な主体による包括的な支援を充実
エ 新たな学びや学び直し場である県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)を設置

活動目標

ア スクールカウンセラー配置人数等、マンダクアラーに配慮した支援を実施している市町(要保護児童対策地域協議会)数 等
イ 生活困難世帯等の学習支援事業参加者数
ウ ひきこもり状態にある人の「居場所」利用者数、青少年交流スペース「アンダクテ」利用者数 等

小柱

(3) 特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

成果目標	現状値	目標値
特別な支援が必要な幼児児童生徒のうち個別の指導計画が作成されている人数の割合	(2018年度) 幼 93.6% 小 90.3% 中 89.1% 高 49.6%	(2025年度) 幼 100% 小 100% 中 100% 高 75%

主な取組に係る施策群

ア 教員の専門性向上や関係機関との連携強化により個々のニーズに応じた支援を実施
イ 障害に対する理解を深め社会性や人間性を育む「共生・共育」を推進
ウ LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、自閉症等の児童生徒を支援

活動目標

ア 特別支援教育に関する校内研修を実施した学校の割合、特別支援学校高等部生徒の進路選択のための実習先数 等
イ 共生・共育に係る授業や行事を行った学校の割合、居住地域の小・中学校との交流を行った特別支援学校の児童生徒数
ウ 発達障害児(者)の支援に携わる専門人材養成数

小柱

(4) 外国人・外国人児童生徒への教育の充実

成果目標	現状値	目標値
日本語指導を受けた児童生徒のうち、学校を楽しみと答えた割合(小・中学生)	(2020年度) 98%	(2023年度) 98%以上
地域日本語教育を通じて多文化共生の場づくりに取り組む市町数	(2020年度) 4市町	(2023年度) 19市町

主な取組に係る施策群

ア 外国人県民と日本人県民とが共に理解し合い、共に学び合う教育を推進
イ 外国人児童生徒への日本語指導や教育支援、キャリア支援等を充実

活動目標

ア SNS等を活用した「やさしい日本語」及び多言語による外国人向け情報提供数、外国人を雇用する企業等と連携した防災出前講座の開催回数
イ 外国人児童生徒等に対して必要な支援が実現できている学校の割合、就学状況等調査・就学案内実施市町数 等

重点取組方針(中柱)

2 グローバル・グローバル人材の育成

小柱

(1) 国際的な学びと地域学の推進

成果目標	現状値	目標値
中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル以上の英語力を達成した中高生の割合	(2019年度) 中 38.0% 高 48.2%	(2025年度) 中 50% 高 50%
県内高等教育機関から海外への留学生数	(2019年度) 887人	(2025年度) 1,000人
外国人留学生数	(2020年度) (毎年度) 3,939人	(毎年度) 5,000人
JICA海外協力隊等への派遣者数	(2020年度) (毎年度) 1,800人	(毎年度) 1,950人

主な取組に係る施策群
ア 高校生と教職員の海外体験、大学生等の海外留学や海外からの留学を支援 イ 県民の国際交流や海外研修、国際貢献活動を促進 ウ 児童生徒の外国語を学ぶ意欲や使用力を向上 エ 地元の良さを認識できる機会の充実により郷土愛を持ち国内外で活躍する人材を育成

活動目標
ア 是しにくにグローバル人材育成基金による海外交流者数、是しにくに地域・大学コンソーシアム事業への参加留学生数 等 イ 海外修学旅行を実施した高等学校の割合、富士山静岡空港を活用した海外への教育旅行助成件数 等 ウ グローバルハイスクール指定校数、外国語・外国語活動の授業に自信を持つ小学校教員の割合 等 エ 地域を学ぶフィールドワークを実施した学校数

小柱

(2) 優れた才能が社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

成果目標	現状値	目標値
自分の将来に対する夢や希望を持っている生徒の割合	(2020年度) 中 86.7% 高 87.1%	(毎年度) 中 90% 高 90%
自然科学やものづくりに関心があると答える児童生徒の割合	(2021年度) 高 56.1%	(2025年度) 高 75%

主な取組に係る施策群
ア 優れた能力を伸ばす教育やリーダーシップを育てる教育、地域のリーダー養成を推進 イ 高校と高等教育機関や企業等の連携、社会変化に対応した施設・設備の整備を推進 ウ 児童生徒の科学技術への関心を高め創造的・論理的思考力を育む取組を推進 エ 県民に対する社会形成・社会参加に関する教育(シチズンシップ教育)を推進

活動目標
ア 未来を切り拓くDream授業参加者数、コミュニケーションレッスン修了者数 等 イ 専門高校及び総合学科で大学・専門学校等での研究体験に参加した生徒数 ウ 国際数学・化学・生物・物理オリンピックへの出場者数、科学の甲子園静岡県予選への出場者数 エ 消費者教育出前講座実施回数、地域社会等でボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合 等

小柱

(3) 地域社会や地域産業を担う人材の育成

成果目標	現状値	目標値
高等学校における就職支援コーディネーターによる面接相談就職指導による就職内定率	(2020年度) 96.7%	(2025年度) 100%

主な取組に係る施策群
ア 専門高校の授業改善、生徒の技能・知識の習得の支援等により専門的職業人を育成 イ ニーズに応じた職業訓練の充実、産学官連携による取組等により多様な人材を育成

活動目標
ア 建設現場体感見学会・出前講座実施学校数、専門高校及び総合学科で高度技術者等の招聘を実施した高等学校数 等 イ 企業等と連携して実施する職業訓練件数しずおかジョブステーションの登録者進路決定率 等

小柱

(4) 自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成

成果目標	現状値	目標値
地域で行われる防災訓練(総合防災訓練、地域防災訓練等)に参加した児童生徒の割合	(2019年度) 58%	(2025年度) 75%
自主防災組織における防災訓練・防災研修実施率	-	(毎年度) 100%
交通人身事故の年間発生件数	(2020年) 20,667件	(2025年) 15,000件以下
児童・生徒の年間交通事故死傷者数	(2020年) 1,988人	(2025年) 1,200人以下

主な取組に係る施策群
ア 地域や学校の実情に応じた防災・安全教育等により県民の防災・安全意識を向上 イ 交通安全・防犯に関する啓発や教育等により県民の交通安全・防犯の意識と能力を向上

活動目標
ア 児童生徒等への防災意識の普及啓発に向けた出前講座の回数、静岡県是しにくにシユニア防災士養成講座の受講者数 等 イ 小・中・高校生に対する交通安全教室実施回数、防犯まちづくり講座受講者数 等

小柱

(5) 環境と社会活動の両立を支える人材の育成

成果目標	現状値	目標値
環境保全活動を実施している若者世代の割合	(2020年度) 77.4%	(2025年度) 78%

主な取組に係る施策群
ア 学校における環境教育の充実や県民の意識向上により持続可能な社会の担い手を育成

活動目標
ア 県がSNS、動画を活用して県境教育に関する情報発信を行った回数、自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数 等

重点取組方針(中柱)

3 高等教育の充実

小柱

(1) 高等教育機能の強化

成果目標	現状値	目標値
静岡県立大、静岡文化芸術大学、静岡社会健康医学大学院大学の中期目標・中期計画の進捗状況	(2021年度) 県立大 100% 文芸大 100%	(毎年度) 県立大 100% 文芸大 100%
県立農林環境専門職大学の自己点検・評価において評価事項に適合している項目の割合	(2020年度) 100%	(毎年度) 100%
ふじのくに地域・大学コンソーシアム等が事業連携して地域課題解決に取り組む件数	(2011～2020年度) 累計101件	(2022～2025年度) 累計100件

主な取組に係る施策群

ア 公立の高等教育機関それぞれの強みを発揮した特色ある教育・研究活動等を促進
イ 大学間連携等を推進する「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の取組を支援

活動目標

イ ふじのくに地域・大学コンソーシアム等が事業連携して地域課題解決に取り組む学生団体数

重点取組方針(中柱)

4 生涯を通じた学びの機会の充実

小柱

(1) 全世代に対する学びの機会の充実

成果目標	現状値	目標値
静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼつと」ユーザー数	(2020年度) 16,355人	(毎年度) 20,000人
県民の公立図書館利用登録率	(2020年度) 49.3%	(2025年度) 52%

主な取組に係る施策群

ア 生涯教育や社会教育を推進する人材の養成等や多様な学習ニーズの支援を実施
イ 高等教育機関における社会人を対象としたリカレント教育を促進
ウ 県立中央図書館の整備・機能充実、県内全域で図書館を利用しやすい環境整備を推進
エ 障害のある人と学び合う場を作り、障害のある人の生涯を通じた多様な学習活動を充実

活動目標

ア 公民館・生涯学習施設等の講座・学級開催回数、静岡県民カレッジ連携講座数等
ウ 県立中央図書館等が所蔵する貴重書・地域資料をデジタル化したふじのくにアーカイブの提供資料点数、県立中央図書館の図書等をインターネット予約により市町立図書館等で受領するサービス利用者数
エ 市町担当者を対象にした障害者の生涯学習推進研修の参加市町数

3 社会総がかりで取り組む教育の実現

重点取組方針(中柱)

1 社会とともに開かれた教育行政の推進

小柱

(1) 社会全体の意見を反映した教育行政の推進

成果目標	現状値	目標値
県総合教育会議開催回数	(2021年度) 4回	(2025年度) 4回

主な取組に係る施策群
ア 大綱・計画を着実に推進するとともに、静岡県総合教育会議で協議・調整し施策を具現化 イ 教育に関する情報の広報と教育現場の声や県民のニーズ等を把握する取組を充実

主な活動目標
ア 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会開催回数、県教育振興基本計画推進委員会開催回数 イ Eジャーナルしずおか発行回数、移動教育委員会開催回数

小柱

(2) 市町と連携した教育行政の推進

成果目標	現状値	目標値
教育行政上の課題解決に向けて県との意見交換等を実施した市町教育委員会の数	(2021年度) 全市町	(2025年度) 全市町

主な取組に係る施策群
ア 県教育委員会と市町教育委員会の連携を強化

主な活動目標
ア 市町教育長会等の開催回数

重点取組方針(中柱)

2 地域ぐるみの教育の推進

小柱

(1) 学校・家庭・地域の連携推進

成果目標	現状値	目標値
学校の課題解決や地域のニーズへの対応に向け、地域の人々が参画し協議する場がある割合	(2020年度) 小 97.2% 中 92.9%	(2025年度) 小 100% 中 100%
コミュニティスクールを導入した学校の割合	(2020年度) 小中 34.2% 高 10.0% 特 8.1%	(2025年度) 小中 100% 高 100% 特 100%

主な取組に係る施策群
ア 学校・家庭・地域の連携・協働による開かれた学校づくりを推進 イ 子どもたちに地域の人々の参画を得て様々な体験活動や交流活動等を提供

主な活動目標
ア 小・中学校における地域学校協働本部の整備率(政令指定都市を除く。)、地域学校協働活動推進員養成講座修了者数 等 イ しずおか寺子屋(学習支援)実施市町数、放課後児童クラブ受入児童数 等

小柱

(2) 家庭や地域における教育力の向上

成果目標	現状値	目標値
「有徳の人」としての行動ができていると思う人の割合	(2021年度) 44.6%	(毎年度) 45%以上

主な取組に係る施策群
ア 地域の特性に応じた家庭教育支援を推進するとともに、県民の人づくり実践活動を促進 イ 子どもや青少年の健全育成に向けて良好な環境の整備を推進

主な活動目標
ア 家庭教育基礎講座・フォローアップ研修受講者数、人づくり地域懇談会参加者数 等 イ 青少年ピアカウンセラー認定者数、市町における地域の青少年声掛け運動実施率 等